

「老いて・生きる」をテーマに今年も皆さんとの集いを企画いたしました。多数のご参加をお待ちしています。

映画と講演の集い

日時 平成7年9月8日(金)
映画・・・午後1時～1時50分
講演・・・午後2時～3時30分
場所 一宮スポーツ文化センター
3階 小ホール
参加費 700円
主催 尾張地域福祉を考える会
まごころサービス尾張センター
後援 一宮市社会福祉協議会

◆講演終了後会場にてお菓子など手作り品のバザーを行います。

お菓子作り
参加下さる方
平成7年九月五日(火)
九月七日(木)
午前九時～午後四時
ききょう会館調理室
参加出来る方は事務局
までお知らせ下さい。
指導は、会員の
奥田さんと川崎さん
です。

◆ドキュメンタリー映画
「おてんとおさまがほしい」
映画照明技師である夫がアルツハイマー症を患う妻にファイナダーを向けた。
老いて生きるという命題を静かに語りかける。妻の病状に心揺れつつも日常を撮り続け、「誰もが生き生き暮らせる温かさ・・・」という夫の願いを刻んだ映画。構成・編集に映画監督の佐藤真。(47分)
◆講演「老いを考える」講師・石原美智子氏プロフィール
昭和14年生まれ。昭和51年岐阜県池田町に父である今村勲氏とサンビレッジ新生苑を創設。父と共に欧米の福祉と医療を多く学びながら水準の高い先駆的な特養ホームの在り方を提示。現在、サンビレッジ新生苑理事長。著書「生きていてよかった」等多数。

日本ケアアシストシステム協会
第五回全国大会開催
テーマ「安心感のある長寿社会をめざして」
去る七月一日～二日に、日本ケアアシスト協会全国大会が四国高松市で開催され、当センターから三名が出席致しました。
公的介護保険・老人の虐待等の高齢者の介護福祉をめぐる様々な問題が大きな課題になっているなか、「介護の質」を基本として考えなければならぬという点を改めて確認しました。
要旨は次のとおり

介護保険をめぐる課題

既に多くの問題を含む介護保険については今まで指摘されている通り、
◆公的保険で公正な要介護の判定は可能か◆家族の介護をどのように評価するか◆家族介護に現金給付への問題点について◆財源を誰がどう負担するのか、等
また、国民的課題だけに、国民との合意形成に時間をかけ実現していくプロセスが重要であるとの発言もありました。

老人の虐待について

この調査が遅れており、今後の対応が課題である。共栄学園短期大学の田中教授の調査によれば
◆老人の家庭内虐待の加害者が、ほとんど親族で密室の中で行われ表面化してこない◆被害者は男性よりも女性が多い◆虐待の原因には介護疲れがよくいわれるが、老人の世話への不満が六割を占めており、高齢者ほど被害を受けやすい◆しかし、調査の結果、虐待があった家庭の九割がホームヘルパーを利用していた◆このことは、ホームヘルプサービスが介護疲れを取り除くまでに至っていない

サービスであるとも考えられる◆また、虐待の原因には、介護者の心身の疲労だけでなく、精神病、アルコール依存症、今までの家族関係の仕返し等様々な要因がある。

虐待防止の対策

◆防止策には、公的な福祉サービス支援の充実や福祉関係者の資質の向上が必要◆日本人の人権擁護意識の高揚と相談福祉サービスの充実、等が話し合われた。



◎お盆やすみ◎
8月13日・14日・15日
よろしくお願ひ致します

6月会員登録状況

協力会員	39人
利用会員	34人
賛助会員	104人
計	177人

6月活動状況

活動件数	14件
活動人数	21人
活動時間	263時間



◎ケア報告

夏祭りのシーズンです。ご商売のご家庭は、どこも猫の手も借りたい程の忙しさ。
家族で高齢者のお世話が充分できない状況です。しかし、お年寄りのリハビリ通院は欠かせません。当センターへの依頼は、祭り期間の一週間、通院と昼食介助及びお話し相手の四時間半。
お年寄りを大切に思われるご家族からの依頼でした。

9月の定例会は
9月4日(月) 午前10時～12時 事務所です
この日はケアはお休みです。利用会員さんへお知らせ
協力会員さんは必ずご出席下さい。